

事業所名		公表日			
キャリアデザイン東札幌事業所		令和 6年 12月 27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	事業所内は3つのスペースで区切られておりそれぞれの活動に十分な広さが確保できている。	全体が見渡せないことが課題となっている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	常時5~6人体制で適切な人員体制で支援できている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	遊びのスペース、パソコン学習のスペースをわかりやすく構造化している。	建物の構造上、バリアフリー化はしていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	玄関や手洗い場での消毒液を配置している。PC学習後は使ったものを各自でアルコール消毒を清潔を保っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	クールダウンが必要な場合や静かな環境が必要な児童には事務室の一部スペースを使っている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	職員間で意見を出しやすい環境づくりをしている。	目標設定と振り返りはできていませんが適時、ミーティングで改善に努めている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	保護者向けにアンケートを取り、結果を職員間で共有し改善に努めている。また結果を保護者に文書にて公表している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	日々のミーティングにて共有、改善を図っている。また効率化についても意見を出し合っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	第三者による外部評価は3年に1度行っています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	職員が積極的に研修に参加し受講後は講義内容を事業所内で共有し支援に生かしている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		まだ公表できていないが今年度中に公表できるよう現在作成中。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	保護者のニーズや子どもの課題を職員間で話し合い、計画書を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	児童発達支援管理責任者と実際に支援をした職員の共通理解のもとで検討している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	職員間で計画書の支援内容を共有しながら支援を行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		現在、標準化されたアセスメントツールの使用はないが今後、検討し取り入れていく。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	計画書の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」をそれぞれの子どもに適切な支援の優先順位をつけて具体的な支援内容を設定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	学習指導員が主となりパソコン学習のプログラムとその日のメニューを作成し事前に職員間で共有している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	個々に応じたパソコン学習のプログラムを提供している。コミュニケーションタイムでの遊びも工夫して行っている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	毎回、個別（パソコン学習）と集団（コミュニケーションタイム）を組み合わせを計画書に盛り込んで行っている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝のミーティングで前日の活動の様子や振り返りを行い、またその日のプログラムと配慮事項の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		支援終了後には行っておらず、翌朝のミーティングで行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援の様子を記録し何かあった時に検証・改善ができるようにデータとしても保存している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを実施し、計画書の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		ガイドラインに沿った内容を盛り込み、社会生活を見据えた支援を行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもの意思を尊重し自主性を育てられるような支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じ、ご家庭を通して連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じ、ご家庭を通して連携している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		対象児童がが中高生のため行っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		今後は支援内容についても情報提供していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		今のところ行っておりませんが必要に応じて機会をの受けたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		今のところ交流はないが今後は検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		今年度は参加できなかったが今後は積極的に参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援の様子を見学を随時受け入れ、支援内容を丁寧に説明している。学校やご家庭での様子も共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		職員が研修を受けるなどしてスキルアップし今後実施できるようにしたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に契約書や重要事項説明書の内容について説明している。運営規定は面談室の見やすい場所に掲示している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談にて保護者の意向やニーズの聞き取り、子どもの気持ちや意思も尊重して計画書を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援内容について丁寧に説明をし計画書に同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		直接来所していただいでご相談に応じたりメールでの相談にも適時助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		父母の会は開催しておりませんが要望があれば検討していく。イベントにきょうだいを招待するなど検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		今のところ苦情はありませんが体制の整備、周知はしている。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	年3回程度キャリアデザイン通信を発行している。インスタグラムにて日々の様子やイベントの様子をアップしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報が記載された書類は鍵付きのロッカーに保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	障害の理解度に合わせて説明を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		今のところ行ってないが検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各マニュアルは策定し揃っているが家族への周知はできていない。	訓練は地震・火災以外も実施できるよう努める。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	BCPを策定し年2回の避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	契約時の聞き取りとフェイスシートに記入してもらうほか、都度連絡をいただき職員間で共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	現在のところ対象の児童はおりませんが契約時にアレルギーについて確認をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画に基づき、日々の支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	緊急時の連絡先、連絡手段など契約時に説明するほか、キャリア通信にて都度お知らせしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	その都度記録を残し、全職員で共有するとともに再発防止の対策を話し合い実践している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	事業所内で職員研修を行っている。虐待防止に関わるセルフチェックを全職員に対して実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	今のところ対象者がいないが契約時に保護者に説明している。全職員で身体拘束についての研修を年1回行っている。	